第７３回中国高等学校柔道大会　開催要項

１．大 会 名　第７３回中国高等学校柔道大会

２．主　　催　中国高等学校体育連盟、山口県教育委員会、山口県高等学校体育連盟

３．後　　援　周南市、周南市教育委員会、（公財）周南市スポーツ協会、日本教育公務員弘済会山口支部

４．主　　管　山口県高等学校体育連盟柔道専門部、（一社）山口県柔道協会、周南市柔道協会

５．期　　日　令和８年６月１２日（金）～６月１４日（日）

６．会　　場　ゼオンアリーナ周南 メインアリーナ　（山口県周南市大字徳山１０４２７番地）
TEL ０８３４－２８－８３１１　Fax ０８３４－２８－８３１３

７．日　　程　(1)委員長会議　…　６月１２日（金）１４：００～
・会　場　ゼオンアリーナ周南 カルチャールーム
(2)監督会議　…　６月１２日（金）１５：００～
・会　場　ゼオンアリーナ周南 カルチャールーム
(3)審判会議　…　６月１３日（土）　９：００～
・会　場　ゼオンアリーナ周南 カルチャールーム
(4)１日目（団体試合）６月１３日（土）　９：３０　開会式
【男子】・予選リーグ　４～５チーム、５ブロック
・決勝トーナメント　１０チーム
【女子】・予選リーグ　３～４チーム、５ブロック
・決勝トーナメント　５チーム
(5)２日目（個人試合）６月１４日（日）　９：３０　試合開始
【男子】・トーナメント戦
・計量日時　６月１３日（土）０８：２０～０８：５０
１６：００～１７：００
（団体試合の終了が早い場合、開始時間を早める）
・計量場所　ゼオンアリーナ周南ﾒｲﾝｱﾘｰﾅ内計量場所
【女子】・トーナメント戦
・計量日時　６月１３日（土）０８：２０～０８：５０
１６：００～１７：００
（団体試合の終了が早い場合、開始時間を早める）
・計量場所　ゼオンアリーナ周南ﾒｲﾝｱﾘｰﾅ内計量場所

８．参加資格　(1)選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
(2)参加選手の年齢は４月２日現在、満１９歳未満の者とする。但し、出場は同一競技(同一大会)３回までとし、同一学年での出場は１回限りする。
(3)全日本柔道連盟に登録済みであること。
(4)転校後６ヶ月未満の者は参加資格を認めない。但し、一家転住等の理由によりやむをえない場合は各県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。（外国人留学生もこれに準ずる）
(5)その他、全国高等学校総合体育大会柔道競技の参加資格に準ずる。
(6)団体試合の部
①中国地区各高等学校体育連盟の予選会、または推薦によって決定したチームで男子各県４チーム、女子各県３チーム出場できる。

②前年度優勝該当(男子・岡山、女子・岡山)県と大会開催(山口)県は男子５チーム、女子４チーム出場できる。ただし、前年度優勝該当県と大会開催県が同一の場合は、男子６チーム、女子５チーム出場できる。参加校に不足が生じた場合は、開催県が補うこととする。但し、開催県が補うことができない場合は、前年度優勝県から補うことができる。前年度優勝県が補うことが出来ない場合は、前年度準優勝県から補うことができる。

③１チームの編成

【男子】　監督１名、選手５名、補員３名の計９名
（試合の成立する３名のチームも参加資格を与える）
（５名に満たない場合は、後ろ詰めとする）

【女子】　監督１名、選手３名、補員２名の計６名
（試合の成立する２名のチームも参加資格を与える）
（３名に満たない場合は、後ろ詰めとする）

④チームの編成は、全日制、定時制、通信制を混同しないこと。

(7)個人試合の部

【男子：７階級】各県・各階級４名出場できる。参加者に不足が生じた場合は，開催県が補うこととする。開催県が補うことができない場合は、前年度優勝県から補うことができる。前年度優勝県が補うことが出来ない場合は、前年度準優勝県から補うことができる。
６０㎏級、６６㎏級、７３㎏級、８１㎏級、９０㎏級、１００㎏級、１００㎏超級

【女子：７階級】各県・各階級３名出場できる。参加者に不足が生じた場合は，開催県が補うこととする。開催県が補うことができない場合は、前年度優勝県から補うことができる。前年度優勝県が補うことが出来ない場合は、前年度準優勝県から補うことができる。
４８㎏級、５２㎏級、５７㎏級、６３㎏級、７０㎏級、７８㎏級、７８㎏超級

９．試合方法

１　団体試合の部

（１）試合は点取り戦で、予選リーグ戦、決勝トーナメント戦を行う。

【男子】①参加２２チームを４チームと５チームの５ブロックに分けて予選リーグを行い各ブロック１位と２位で決勝トーナメントを行う。

②決勝トーナメントの組み合わせは次による。

（ア）各ブロック１位のチームを決勝トーナメント２回戦からの出場となるように組み合わせる。なお、同県チームが複数の場合においても、それを配慮することはしない。

（イ）各ブロック１位のチームは決勝トーナメント表の１、５、６、７、１０からフリー抽選により決定する。

【女子】①参加１７チームを３～４チームの５ブロックに分けて予選リーグを行い、各ブロック１位で決勝トーナメントを行う。

②決勝トーナメントの組み合わせは、決勝に進んだ５チームのフリー抽選により決定する。

（２）予選リーグの組み合わせは、開催県において各県１位チームが、また同県チームが合わないように組み合わせる。ただし、開催県から６チーム出場する場合はこの限りではない。

（３）予選リーグ及び決勝トーナメントの勝敗の決定は次による。

①予選リーグ戦及び、決勝トーナメント戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。

１．勝ち数の多いチームを勝ちとする。
２．１で同等の場合は「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
３．２で同等の場合は「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
４．３で同等の場合は「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
５．４で同等の場合は「僅差」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
＊僅差は「指導差２」とする。
６．５で同等の場合は引き分けとする。
決勝トーナメント戦においては、任意の代表者による代表戦を行う。代表戦で「有効」又は「僅差」以上の得点差がない場合は、延長戦（ＧＳ）により勝敗を決する。延長戦の判定基準

・実施方法は個人試合に準ずる。

②リーグ戦の順位の決定は次による。

１．リーグ戦をとおし、チームにおける勝敗の内容により上位を決定する。
２．１で同等の場合得失点差の多いチームを上位とする。
３．２で同等の場合はリーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。
４．３で同等の場合は「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。
５．４で同等の場合は「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。
６．５で同等の場合は「有効」による勝ち数の多いチームを上位とする。
７．６で同等の場合は「僅差」による勝ち数の多いチームを上位とする。
８．７で同等の場合は負け数の少ないチームを上位とする。
９．８で同等の場合は「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。
１０．９で同等の場合は「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。
１１．１０で同等の場合は「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。
１２．１１で同等の場合は「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。
１３．１２で同等の場合は任意の代表者による代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦（ＧＳ）により勝敗を決する。

（４）予選リーグにおいて途中棄権及び失格の場合は、そのチームに関する対戦成績はすべて抹消する。ただし、リーグ戦最終試合の場合は負けとする。

２　個人試合の部

（１）トーナメント戦を行う。

【男子】各階級２０名を５ブロックに分けて予選トーナメントを行い、各ブロック１位５名で決勝トーナメントを行う。

【女子】各階級１５名を５ブロックに分けて予選トーナメントを行い、各ブロック１位５名で決勝トーナメントを行う。

（男女とも出場者数により予選のブロック数はこの限りではない。リーグ戦にて実施することも含む）

３　審判規定　国際柔道連盟試合審判規定ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項で行う。

（１）判定基準

ア　団体試合

「有効」又は「僅差」以上とする。＊僅差は「指導差２」とする。

チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦（ＧＳ）により勝敗を決する。延長戦に入った場合、「有効」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。

イ　個人試合

「有効」又は「僅差」以上とする。＊僅差は「指導差２」とする。

技による評価が同等の場合は延長戦（ＧＳ）により勝敗を決する。延長戦に入った場合、「有効」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。

（２）試合時間　　団体戦予選リーグ及び個人戦予選トーナメントは３分、個人戦・団体戦ともに決勝トーナメントは４分とする。ただし、延長戦（ＧＳ）は時間制限を設けない。

（３）その他の必要事項については、審判・監督会議で決定する。

10．表　　彰　(1)男子団体戦においては、第１位から第５位まで表彰し、優勝チームには優勝旗
第２位に準優勝楯を授与する。

(2)女子団体戦においては、第１位から第５位まで表彰し、優勝チームには優勝旗
第２位に準優勝楯を授与する。

(3)男子個人戦においては、第１位から第５位まで表彰する。

(4)女子個人戦においては、決勝トーナメント進出者数に応じて表彰する。

(5)団体戦で連続出場３年以上の学校に表彰状を贈る。（令和２年度は含まない）

(6)団体戦の優秀選手を表彰する。（男女ともに表彰チームより各校１名選出する）

11．参加上の注意

(1)選手は国際柔道連盟試合審判規定に定めるところの服装を厳守して試合に出場すること。
(2)大会における負傷については原則として治療費は自己負担とする。
(3)参加者は健康保険証またはマイナンバーカードを持参すること。
(4)参加者は、全員柔道衣にゼッケンをつけること。
ゼッケンは横３０～３５㎝、縦２５～３０㎝で上段に姓、下段に学校名を記人すること。
男子・・・黒字　　女子・・・赤字
(5)計量は定められた日時に行い、計量を受けない選手は出場できない。
６月１３日(土)８：２０～８：５０もしくは１６：００～１７：００の間に計量すること。
(6)団体試合出場チームは、オーダー名票を持参してください。
縦２６㎝　横１２㎝　ケント紙　白　横書き
学校名が記名してある袋に入れて、受付時に提出してください。
(7)参加料　団体　１チーム　１６，０００円　個人　１名　１，７００円
「納入方法」　下記口座に令和８年６月１１日（木）までに、振り込むこと。
※郵便局からの振込の場合
取扱銀行名　[　ゆうちょ銀行　]
記号－番号　[　１５５９０－３０９８０１４１　]
口座名義人　山口県高等学校体育連盟柔道専門部
（読み方：ﾔﾏｸﾞﾁｹﾝｺｳﾄｳｶﾞｯｺｳﾀｲｲｸﾚﾝﾒｲｼﾞｭｳﾄﾞｳｾﾝﾓﾝﾌﾞ）
※郵便局以外の金融機関からの振込の場合
【店名】　五五八（読み　ゴゴハチ）
【店番】　５５８
【預金種目】　普通預金
【口座番号】　３０９８０１４
※注意　振り込む時，必ず学校名「〇〇県〇〇高校」で振り込むこと。
振り込み手数料は各校の負担とする。
(8)参加申込　所定の用紙で１部作成の上、各県委員長宛にメール送信と大会事務局宛に郵送で申し込むこと。
締切日　各県委員長から事務局への締切は５月１１日（月）必着とする。プログラム作成のため、参加校は５月７日（木）を目処に各県委員長宛にメールで送信すること。印刷した申込書に校長印を押印し、下記に郵送すること。５月１１日（月）消印有効とする。なお、県予選が締切日以降の場合は大会終了後直ちに手続きを行うこと。
送信先メールアドレス　各県委員長宛
郵送先：〒746-0036　山口県周南市温田1丁目1-1　南陽工業高校内　市川大生　宛
（℡　学校代表　0834-62-4168　FAX　0834－62－4019）

12．宿　泊　別紙「第７３回中国高等学校柔道大会　宿泊・弁当要項」による。
大会期間中の宿泊は大会事務局で斡旋する。必ず斡旋を通して宿泊を申し込むこと。
（宿泊料金については申込後、旅行代理店からの指示に従ってください。）

13．選手変更　申込締め切り日以後、出場者に変更を要する場合は、「参加申込・選手変更・宿泊申込」の各要領に従って、必ず委員長会議までに各県委員長に届ける。ただし、オーダーの変更は認めない。宿泊については、取扱業者への連絡も該当校において行うこと。なお、選手の変更にあたり委員長に提出する届については、所属学校長の決裁を受け、公印が押印されたものとする。変更届には所属学校長名により発行され職印が押印された理由書または診断書を添えること。
また、諸会議資料作成上、変更については、担当者（南陽工業高校　市川大生）に郵送すること。

14. そ の 他　(1)練習は、試合会場にて、６月１２日（金）１３：００～１７：００に行ってもよい。会場設営の進行状況により、練習開始時刻が多少前後することがある。
(2)早く来た学校が、練習会場のスペースを確保するために、帯や荷物を置いたり、部員を配置したりするなど、場所確保させる類の行為は、厳に慎むこと。
(3)選手の入館開始時間は（開館時間）１３日（土）・１４日（日）ともに８：００開場とする。
(4)３年以上の連続出場校は、参加申込様式の表の下の連続出場に関する記入欄に必要事項を記入し申し込みすること。ただし、令和２年度は含まないこととする。
(5)宿泊申し込みは、必ず指定取扱業者を介し行う。本件開催の場合「通い」で出場する場合は、宿泊申込様式にて「宿泊 無」に〇をして、業者に連絡すること。指定業者を介さず、独自に宿泊先を契約したことが判明した場合は、先の契約を破棄させた上、指定業者により配宿を受けるよう中国高体連より指導する。
(6)個人試合において、参加人数が少ない場合には、試合方法を開催県が決定する。
(7)参加者の柔道着について、白帯の場合は規格に適合していれば、認定マークは不要とする。
(8)個人試合に出場する選手について、G-TEC 受験等正当な理由により、開会式および体重測定に間に合わない場合は、所属学校長の決裁を受け、公印が押印された所定の用紙（様式1）を委員長会議までに各県委員長に提出する。
(9)前年度優勝校・準優勝校は、優勝旗・準優勝楯等を必ず持参すること。